

子どもの学びと育ちを共有し、

地域の未来をともに考える



公式マスコット
キャラクター
なる★ワン

申込みフォーム

<https://forms.cloud.microsoft/r/264tKpDwjq>

※鳴門市教育委員会（共催）
管下の教職員は、教育委員会から視聴URLを連絡しますので申込は不要です。



2026(令和8)年

8.7 金 ▶▶ 8.24 月 まで

実施方法 オンデマンド型(参加費無料)

申込締切
令和8年

7.31 金

趣旨

教育のデジタル化が進み、学校には子どもの学びや育ちに関わる多様なデータが蓄積されるようになってきました。大切なのは、データを集めることそのものではなく、子どもの姿をどのように見取り、日々の授業や指導に生かしていくかです。

鳴門市においては、「なるとうずっ子 学力向上パッケージ」等の施策を通して、学力向上を目指すとともに、教育データの活用による教育改善に取り組んでいます。本学では昨年度から「教師のためのAI・DS研究開発センター」を設置し、教育委員会や学校と連携しながら、AIやデータサイエンスを教育現場でどのように活かせるかについて研究開発を進めています。

本フォーラムでは、鳴門市で継続してきた調査から見てきた子どもの生活やウェルビーイングについて報告するとともに、教育データ活用を通して子どもの理解を深める視点について考えます。子どもの学びと育ちをどのように見取り、学校や地域で共有していくのかを、皆さんとともに考えます。

視聴期間中は自由にご覧いただけます。各学校での校内研修や協議の機会としても、ぜひご活用ください。

内容

開会挨拶

鳴門教育大学 学長 佐古 秀一
鳴門市教育委員会 教育長 阿部 孝弘

講演

ICT利用時間と子どものウェルビーイング —鳴門市3時点調査が示す「心がけ」の重要性—

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科(家庭・教育探究総合コース) 教授 坂本 有芳
教師のためのAI・DS研究開発センター
鳴門教育大学大学院 学校教育研究科(幼児教育コース) 准教授 木村 直子

講演

広がる教育データ活用、深まる子どもの理解

鳴門教育大学 教師のためのAI・DS研究開発センター 准教授 阪東 哲也
鳴門教育大学 教師のためのAI・DS研究開発センター 講師 滝井 健介

閉会挨拶

鳴門教育大学 理事 美馬 持仁

終わりに

アンケート
協力の依頼

主催等

主催：国立大学法人鳴門教育大学
共催：鳴門市教育委員会
後援：徳島県教育委員会、徳島県小学校長会、徳島県中学校長会、徳島県高等学校長協会、
徳島県国公立幼稚園・こども園教育研究会、徳島新聞社、NHK徳島放送局、四国放送株式会社